

# 留寿都高校だより

平成 27 年 7 月 号

(平成27年7月24日発行)

TEL (0136)46-3376

FAX (0136)46-3386

意見発表大会

北海道留寿都高等学校長 大 関 俊 郎

7月9日、10日の2日間、本校を会場に「北海道意見発表大会」が開催されました。この大会は、農業高校で学ぶ生徒が、日常の学習の中から身近な問題や将来の問題について、意見や抱負を交換し、主体的に問題解決する能力や態度を養うと共に、クラブ員同士の親睦や連携を深めることを目的に実施している農業クラブの三大行事の一つです。

当日は、11校から34発表が参加しました。発表内容は、農業経営や食糧問題、環境改善や地域の活性化や介護福祉に関することなど、多岐に渡っていましたが、どの発表も課題解決への考えが明確であり、前向きで力強い発表でした。また、聴衆者にも夢や希望、勇気と感動を与えてくれました。

本校生徒は、執行部を中心に全校生徒が「おもてなしの心」を持ち、大会運営に当たりました。代表生徒を含め、留寿都高校生が1つになって、見事に素晴らしい大会を経験することになった2日間でした。



## ☆☆福祉祭☆☆

7月18日(土)留寿都村公民館において、社会福祉協議会と共催の福祉祭が開催されました。本校生徒はふれあいの店(焼きそば、焼き鳥、農産物の販売など)、昔あそびコーナー、シルバーオリンピックなどを担当し、地域の様々な世代の人たちと交流を図ることができました。また、実行委員が中心となり行ったイベントでは、地域の方々に楽しんでもらうことができ、生徒たちもいきいきとした表情で参加することができました。



## 留高授業ニュース ～保健体育：担当目黒 雄～

「頑張った自分を褒める体育を目指して」

7月は陸上の授業でウォーミングアップにトラック(300m)を走ります。1週間目は5周からスタートして最後は8周を走りました。走るというもっとも単純な運動だけに「走りきるために必要なのは気持ち」です。体育を通してスポーツの楽しさを学んでもらうことは当然ですが、自分の限界に挑戦することでしか味わえない喜びや達成感を感じてもらえればと思っています。

体育を通して心技体を高めていきます。



## 八雲養護学校との交流

7月15日(水)八雲養護学校において、本校2年生が今年度2回目となる交流事業を行いました。今回は音楽等の授業への参加、レクリエーションを通して同じ高校生として交流を深めることができました。また、本校の堀米教諭が世界史の合同授業をおこなってきました。非常に活気がある授業がおこなわれました。

また生徒同士名刺交換をし、お互いに趣味や好きな芸能人の話等、和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。



## 交通安全キャンペーン

7月17日(金)1年生と生農会執行部が国道230号沿いの赤い靴公園前にて、交通安全をドライバーに呼びかける交通安全キャンペーンを行いました。横断幕を掲げ、元気よく呼びかけるとともに、生徒自身も交通安全の意識を高めることができました。



## 南北海道地域意見発表大会

7月9日(木)～10(金)に本校で行われました南北海道学校農業クラブ連盟意見発表大会に3年生の藤田あかりさん、2年生の遠藤萌さん、1年生の川添柚花さんが出場しました。2年生の遠藤萌さんは食料・生産部門で優秀賞を取ることができました。残りの2名も大きな舞台での発表は貴重な経験になりました。

当番校としても生徒・教職員全員で最高の大会運営が出来ました。



## 8月行事予定

～17日(月)	夏季休業	24日(月)	認知症サポーター講座 (2年生福祉コース)
18日(火)	休業後集会	25日(火)	留学生交流
	4年生登校(～21日)	27日(木)	前期期末試験(～9月1日)
	南連技術競技大会(静内) 本校から8名参加	29日(土)	JA ようてい農業祭
		30日(日)	ルスツ産業祭